

八王子シニアニュース

Vol.4

2016.11.15

さて、今年も3月の全国選抜大会3位から始まり、10月の関東大会ベスト8進出(来春の全国選抜大会への推薦出場を十分にアピール!)し主要な大会で各学年とも例年どおりの活躍を見せました。

また、OB選手の活躍もあり、第98回全国高校野球選手権大会(夏の甲子園)では、西東京代表として八王子高校(初)が出場し惜しくも初戦敗退しましたが、保條友義選手(2011入団)が4番打者として出場しました。

OB選手といえば今回は、大学野球に触れたいと思います。

現在、八王子シニアのOB選手は、現役選手として、東京六大学・東都大学・首都大学等の各大学野球連盟において現役選手が約40人活躍しております。

中でも、この秋に大ブレイクしたOB選手を紹介しますね。

この秋の首都大学野球連盟(1部)で桜美林大学を初優勝に導いた大平達樹捕手(3年生:桜美林高卒)選手です。大平選手は、佐々木千隼選手(2016千葉ロッテマリーンズドラフト1位)の女房役としてこの秋のリーグ戦にレギュラー出場し見事初優勝!そして、秋のリーグのベストナインにも選出されました。



首都大学野球(秋)ベストナインのトロフィーを持つ大平達樹選手

また、関東地区の五大学野球連盟の優勝チームが出場した関東地区予選（横浜市長杯）でも、創価大学の田中正義投手（2016ソフトバンクにドラフト1位）から安打を放つなどして優勝し、このたび開催された第47回明治神宮大会に初出場を果たしました。

同大会では、惜しくも決勝戦で明治大学に2 - 5で敗れはしましたが、見事準優勝を成し遂げました。大平選手は、2回戦の環太平洋大学戦、3回戦の日本大学戦でも本塁打を放ち、決勝線でも明治大学の柳裕也投手（2016中日ドラゴンズにドラフト1位）から安打を放つなどして同大会でも大活躍しました。

また、来年、2017年に中国の北京で開催される大学野球の最高峰の国際大会である「第29回ユニバーシアード大会」の日本代表選手にも1次候補に選出されるなど素晴らしい評価を戴いております。大平選手は、八王子シニア時代では3年生の夏休みの最後の大会（九州地区全国選抜大会）に八王子シニアが招待出場した際には、連日の猛暑の中、1回戦から準決勝後の3位決定戦まで5試合連続ひとりでマスクをかぶり続け、惜しくも松井裕樹投手（2013東北楽天イーグルスにドラフト1位）を擁する青葉緑東シニア（南関東支部）に惜敗しましたが、1日の休みもなくフル出場しました。

大平選手は、当時から非常に研究熱心で努力家だったので現在のような、大学野球界を代表する捕手に成長したと思います。

大平選手をお手本にして、現役選手たちもひたむきに努力して欲しいと思います。



首都大学野球リーグ戦でマスクをかぶる大平選手
写真については、桜美林大学野球部HPより引用しています。